

第4回 定例会

区政をただす

一般質問

二次元コードから、各質問者の録画映像をご覧になれます。

北朝鮮による

日本人拉致問題を問う



立憲・国民・ネット・無所属議員団

ひやま 隆



①12月4日から10日は人権週間である。北朝鮮による日本人拉致問題は人権を考えると、忘れてはならない重大な人権問題である。12月1日、政府拉致問題対策本部・東京都・中野区の主催による映画「めぐみ」引き裂かれた家族の30年」の上映会が実施される。上映会の開催に当たり、区民からの反響も大きく、事前の受け付けでは定員を上回る多数の申し込みがあり、抽選になったと聞いている。鑑賞を希望したにも関わらず、叶わなかった方に対して、鑑賞できる環境を整備する必要があると考えるが、どのような対応をするのか。②この問題を広く区民に周知するためと考えるが、今後の取り組みは。③北朝鮮による日本人拉致被害者全員を一刻も早く救出し、拉致問題を完全に解決するため、毅然とした制裁措置とあわせ、6カ国協議の再開や更なる国際協力を図るなど、あらゆる機会を逃さず、総力を挙げてこの問題に取り組むことを、改めて国に対して求めていくべきであると考えるが、区の見解は。

区長 ①上映会当日は、YouTube 政府拉致問題対策本部公式動画チャンネルで、インターネットライブ配信を実施する。また、その動画は12月3日まで視聴が可能となっており、上映会のチラシにも掲載し、周知している。②啓発週間を通じ、庁舎1階を活用したパネル展の実施や、庁舎のライトアップなどにより啓発を行う予定である。③「北朝鮮による拉致被害者を救出する知事の会」が政府に対して、要望書の提出等の働きかけをしており、今後、国の動向等も含め注視したい。

中野サンプラザの今後を

抜本的に検討し直せ



自由民主党議員団

加藤 たくま



いわゆる新・中野サンプラザは、事業認可申請の2カ月後に総工費が900億円以上高騰し、急遽、事業認可申請の取り下げをする前代未聞の事態となった。①プロジェクトの大幅な遅れの原因に、区のマネジメントにも問題があったのでは。②事業計画の遅延に伴う負担を施行予定者側に求めているそうだが、事業者が応じない場合、再選定

区長 ①事業の節目で確認を行ってきた。②再選定の可能性も含め検討する。③事業コンセプトや必要な機能の実現といった視点で確認する。大きな乖離がある場合は、必要に応じて第三者の意見も聞き判断する。④専門家を確認をしており、今後、国税局と相談を行うことも考えている。⑤必要経費や費用対効果等を総合的に検討し、判断する。

中野駅新北口駅前エリア再整備事業の具体案を示せ



公明党議員団

平山 英明



①今後について、具体的な案が提示されなければ、何が最良であるか判断できない。議会の協力と区民の理解を求めるのであれば、各案についての財政面を含めたメリットとデメリットを、想定スケジュールとともに議会に示した上で議論するべきである。遅くとも来年度の早い時期までに提示がなければ、次期基本計画の策定がままならないと考えるが、案が提示される具体的な時期はいつになるか。②区長は、区民の代表である議会と直接向き合い、不安や疑問を抱く区民に対して幾度でも発信を行うべきであると考えるが、自らの説明責任をどのように考えているのか。

区長 ①あらゆる可能性を想定しており、条件が決まり次第、なるべく早い段階で示していく。②議会や記者会見の場で説明責任を果たしてきたつもりである。今後も積極的に説明をしていきたい。来年度予算と今後の区政運営を問う 現下の最大の区政課題である中野駅新北口駅前エリア再整備事業の今後が具体化されるまでは、大きな予算を伴う新規事業や新たな施設整備は計画するべきではないと考えるが、区の見解は。 区長 今後の動向に応じて、適切に対応していきたい。在宅避難支援拠点の設置を 23区に先駆けて、一刻も早

中野駅新北口駅前エリア市街地再開発事業について問う



日本共産党議員団

武田 やよい



①事業の遅れに伴う経費増加分について、施行予定者側に負担を求める区の方針に変わりはないか。②このことに伴い、区民サービスの抑制・削減を行わないことを強く求めるが、区の見解は。 区長 ①施行認可申請時の事業計画に示されていたスケジュールからの遅延に伴い、新たに生じる地権者への負担を施行予定者側に求める考えに変わりはない。②区民サービスの影響を及ぼさないよう、

適切な財政運営を進めていく。 区は多様な学びの選択肢を提供せよ 全ての子どもを保障するために、様々な学びのカタチを提供し、選択できることが大切である。学びの多様化を促進し、環境施策について区民と一緒に検討する「気候区民会議」を設置するべきである。現基本計画での最終年度である来年度には、次につながる事業として、設置に向けた準備を行うべきと考えるが、区の見解を伺う。 区長 「気候区民会議」

体制と拠点の整備を行うべきである。拠点設置を次期基本計画に位置付け、先進自治体である三鷹市と連携し、早急に検討を開始すべきでは。 区長 他自治体を参考にし、検討していきたい。

困難を抱える子どもたちを支援せよ

急増する不登校の子どもたちや発達に課題がある子どもたち等への支援に、文化や芸術面からのアプローチを取り入れるべきである。N組や特別支援学級等のプログラムに積極的に取り入れてみては。 教育長 取り入れたい。



今後の高齢者会館の在り方について問う



都民ファーストの会中野区議員団

黒沢 ゆか



高齢者会館をスマートウェルネスシティの理念を実現させる施設に位置付けると報告があったが、今後の在り方は。 区長 名称変更に伴う柔軟な運営により、利用の少なかつた年齢層の利用促進や多世代交流の活性化に取り組む。 子育て支援について問う ①保育施設情報の収集や見学予約、入所申請をワンストップで行えるサービスが先行自治体で開始された。保活のワンストップシステムを構築すべきでは。②ベビーシッター利用支援事業について、対

象年齢の拡充を検討しては。 区長 ①負担軽減につながる保活ワンストップサービスについて検討したい。②対象年齢の拡充は慎重に検討する必要があると考えている。 スペシャルニーズのある子どもに適切な教育環境を インクルーシブ教育のガイドラインを作成してはどうか。 教育長 障害特性に応じた合理的配慮の共通理解を図るため、ガイドラインの策定を進めているところである。今後は、インクルーシブ教育の理解を推進していきたい。

「気候区民会議」を設置するべきである。現基本計画での最終年度である来年度には、次につながる事業として、設置に向けた準備を行うべきと考えるが、区の見解を伺う。 区長 「気候区民会議」

の設置は、区民一人ひとりが「自分事」として捉え、生活の中での行動変容を起すきっかけづくりになると認識している。来年度は、脱炭素に向けた学習の機会を提供する

方向で検討している。その取り組みを通して、区民へのアプローチについては、「気候区民会議」も含め、どのような方法が有効か検討していく。